

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 4 区分
【発行日】平成 20 年 4 月 10 日 (2008.4.10)

【公開番号】特開 2006-296144 (P2006-296144A)
【公開日】平成 18 年 10 月 26 日 (2006.10.26)
【年通号数】公開・登録公報 2006-042
【出願番号】特願 2005-116520 (P2005-116520)
【国際特許分類】

H 0 2 K 35/02 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 35/02

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 2 月 22 日 (2008.2.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

同極同士が対向した状態で一体化された複数の永久磁石と、
上記複数の永久磁石の外周に間隔を有するように配置され、交互に巻き方向が逆となるように構成された複数のコイルと、からなり、
上記複数の永久磁石を移動させることによって発電する振動発電機であって、
上記コイルの長さは、上記永久磁石の長さの 70% ~ 90% としたこと
を特徴とする振動発電機。

【請求項 2】

上記複数の永久磁石の間には磁石用スペーサーが配置されていること
を特徴とする請求項 1 に記載の振動発電機。

【請求項 3】

上記磁石用スペーサーを介して隣り合う永久磁石の間隔は、上記永久磁石の長さの 10% ~ 40% であること
を特徴とする請求項 2 に記載の振動発電機。

【請求項 4】

上記コイル間の距離は、上記永久磁石の長さの 10% ~ 30% であること
を特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の振動発電機。

【請求項 5】

上記コイルの数は、上記永久磁石の数と同数、または永久磁石の数 + 1 個以上としたこと
を特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の振動発電機。

【請求項 6】

上記永久磁石の形状および上記磁石用スペーサーの形状は、同じ径を有する円筒状であること
を特徴とする請求項 2 乃至 5 のいずれかに記載の振動発電機。